

インフルエンザ予防 はじめませんか？

これからの季節は、インフルエンザウイルスが活動しやすくなる時期です。

早めのインフルエンザ予防に取り組み、インフルエンザウイルスを撃退しましょう。

☆ インフルエンザ予防3原則 ☆

① いれない！

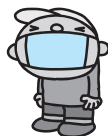
(ウイルスを体に侵入させない)

- まずは手洗い・うがいをしっかりしましょう。
- 部屋を適度な温度と湿度に保ちましょう。
- 部屋の換気をしましょう。



② 寄せ付けない！

- 流行時期の人ごみへの外出は避けましょう。
- マスクを着用することで予防し、周りの人へも広げないようにしましょう。



③ 受け付けない

(抵抗力をつける)

- バランスのよい食事をとりましょう。
- 十分に睡眠と休養をとりましょう。
- 予防接種を受けましょう。



◆ インフルエンザ予防接種が

効果的です

インフルエンザウイルスの免疫がついていれば、症状も比較的軽くなります。

予防接種を受ける場合は、インフルエンザが流行する前に早めに接種しましょう。

(インフルエンザの流行時期は12月頃からです。予防接種の効果が出るまでに約1カ月かかるので、流行する前に接種しましょう。)



インフルエンザ予防接種(新型・季節型混合ワクチン)のお知らせ



町 では、65歳以上の方と幼児・児童を対象に、インフルエンザ予防接種にかかる費用の一部助成を行います。

また、生活保護受給者及び世帯全員が町民税非課税者の方を対象に、費用の負担軽減事業(実質無料化)を実施します。

対象の方には、助成券または証明書を送付していますので、お手元に届いた書類をよく確認し、**事前に病院に電話して接種が可能か必ず確認してから受けるように**してください。

実施期間 ▶ 10月18日(月)～平成23年1月31日(月)

～幼児・児童の保護者の皆さんへ～

「すくすく美浜っ子サポート事業」により実施します。

<対象>

美浜町に住所を有する、平成10年4月2日～平成21年12月31日生まれの接種する日にすでに満1歳以上になっているお子さん

<助成額等>

1人1回の接種につき1,000円分を2回まで助成します。自己負担額は医療機関にお問い合わせください。

～65歳以上の皆さんへ～

「予防接種法」に基づき実施します。

<対象>

美浜町に住所を有する、昭和20年12月31日までに生まれ、接種する日にすでに満65歳以上になっている方

<助成額等>

1人1回の接種につき1,500円分を1回のみ助成します。(どこの病院で接種するかで助成額が変わる場合もあります)



子育ての悩み、 一人で抱えないで！

子 育てをしていると誰でも、「こんな時どうすればいいの?」、「こんなことをするのは、うちの子だけ?」等と不安や心配になる時があるのではないのでしょうか?

乳幼児期では「健康」や「発達」について、また年齢が上がるにつれて「しつけ」や「友達関係」等について、心配事はつきませんよね。

子育て支援センターの遊びの広場では、いつでも保育士や児童相談員と話をすることができます。お子さんを遊ばせながら、日頃思っていること等を他の利用者を交えて一緒に話ししてみませんか?

当センターでは、皆さんの不安が軽減され、今よりもっと子育てが楽しくなるようにサポートし、お子さんの健やかな成長を共に見守っていきます。

また、個別の面接相談や電話、メールでの相談も受け付けています。

秘密やプライバシーは堅く守りますので、一人で悩んだりストレスをためたりせず、お気軽にご相談ください。

▷相談日 平日、第2土曜日

▷時 間 午前9時～午後4時

(第2土曜日は午前中のみ)

▷メールアドレス

kosodate@town.fukui-mihama.lg.jp



↑お気軽にご相談ください!

※お問い合わせ先

子育て支援センター ☎32-0192



インフルエンザ がやって来る!?

毎 年訪れるインフルエンザ。昨年は、新型インフルエンザの世界的大流行により、美浜町も多数の感染者が出ました。今年は昨年のような大流行はないものの、季節性インフルエンザへの準備を忘れないでください。



予防方法

医療水準の高い日本では、やはりワクチンのことが話題になります。今年も町からの助成制度を利用し、ぜひ多くの方に予防接種を受けていただきたいと思います。

しかし、勘違いしてはいけないのが、予防注射をするとインフルエンザにかからないと思ってしまうことです。ワクチンはインフルエンザに感染しても軽症で済むように行うもので、感染しない丈夫な体を作るものではありません。

予防する気持ちをしっかり持ち、手洗いやうがい、マスクの着用を心がけましょう。



今年のワクチン

昨年のワクチンは、新型インフルエンザと季節型インフルエンザ(A&B)の2種類を打たなければなりませんでした。

それに対し、今年は2種類を混ぜ合わせたワクチンが使用されます。成人であれば1回の摂取で十分となります。

また、製造も十分に行われているようで、昨年のような優先順位に従って実施されることはありません。

かかりつけの医療機関に相談し、一番良い時期に摂取するようにしてください。

※お問い合わせ先

東部診療所(村寄医師) ☎37-2911

町誌よもやま話

(131)

興道寺廃寺に迫る！

日本に仏教が伝来したのは、6世紀始めのことです。6世紀の終

わり頃に、飛鳥時代の大豪族であった蘇我馬子によって、日本で最初の本格的な寺院である飛鳥寺が建てられました。8世紀には聖武天皇の勅願（天皇の祈願）によって、国家鎮護のため国ごとに国分寺と国分尼寺が建てられ、若狭地方では遠敷郡（小浜）に建てられました。これらのこと以外にも、各地で僧侶や豪族たちが発願して多くの寺院が建てられていました。

飛鳥寺からやや遅れて7世紀の終わり頃、美浜町興道寺の耳川左岸段丘上に、本格的な伽藍配置に基づいた寺院が建てられました（伽藍とは古代インドの言葉、僧伽藍摩を略した言葉で寺・寺院という意味）。8世紀後半の再建された頃の南門・中門（寺の正門）、金堂（本尊の仏像が安置してある本堂）、塔、講堂（僧侶が読経をしたり説法をする所）の跡などが発掘調査の結果、確認されています。

町の教育委員会の熱心な取り組みにより、平成14年から興道寺廃

寺の発掘調査が12次にわたって続けられています。

地上においては礎石を含めて寺院の痕跡がほとんど残っていませんが、地下20センチ以下の地層を発掘することによって、興道寺廃寺は伽藍を備えた立派な寺院として創建され、何らかの理由で再建もされていることまで判明したのです。

更に遺物も多く出土しました。多くの瓦の破片から建物は丸瓦と平瓦を組み合わせた瓦葺きの屋根を持つていたこと、丸瓦の瓦当とよばれる端の飾りの部分には当時の都の寺院の瓦につけられていた模様（文様）がつけてあったこと（蓮華文）が確認されました。

これ以外にも螺髪とよばれる仏像の髪の毛を表現した人の手の親指ほどの大きさのものが7点出土しました。少しずつ大きさに違いがあり、仏像は一体ではなかった可能性がります。専門家によると1個の螺髪から仏像全体の大きさが推定できるといい、推定3メートル以上の仏像であった可能性が報告されています。

その他にも器物（土師器、須恵



↑興道寺廃寺出土銭貨

器）の破片多数、古代の銭貨（和同開珎、万年通宝、神功開宝）14点等が土の中から発掘され、調査者の手によって全て記録され、保存されています。

美浜町の仏教の始まり、人々の遺産ともいえる興道寺廃寺の創建された姿を想像してみようではありませんか。

（美浜町誌編纂委員会委員

山口 悦子）

文芸欄

川柳

月二回葉の仕分けかかせない

山路義隆（太田）

賞味期限有って無いよな台所

木野千枝（河原市）

今気づく母の言葉に深い愛

辻井喜美代（佐田）

S席でうつらうつらとブルームス

酒谷文子（日向）

無駄骨と始めに分かる術欲しい

西野きよじ（興道寺）

コマーシャル夫婦の時間こんなもの

福嶋恭子（郷市）

